



生駒市議会議員 無会派 伊木まり子
ニュース 2024年6月

発行人 伊木まり子 〒630-0261 生駒市西旭ヶ丘1-2

Tel 0743-73-2828 // Fax 0743-71-6601

Email: ikomanomirai@iris.eonet.ne.jp

http://www.eonet.ne.jp/~ikomanomirai



安心して生まれ、育ち、暮らせるふるさと生駒をつくろう



6月定例会、開会中です

6月5日、生駒市議会6月定例会が開会しました。3月定例会に提出され、継続審査となった市長提案のハラスメントの防止等に関する条例については、今回、市長から議案撤回の申し出がありました。撤回の可否は6月7日の本会議で決定します。13日には空家等対策計画、14日には教育大綱について担当課から説明を受けます。



議案一覧
議案説明書

お知らせが遅くなりました。本会議や委員会
の様子は市議会のHPからご覧頂けます →



	午前10時～
6月5日(水)	本会議・一般質問
6・7日	一般質問・本会議
13日(木)	経済建設委員会・予算委員会
14日(金)	厚生文教委員会・予算委員会
17日(月)	企画総務委員会
19日(水)	予算委員会
25日(火)	本会議

熱中症に
要注意！

今年は昨年以上に暑い夏！！ 熱中症の予防を！

今年の夏は昨年以上に暑くなると予測されていて、4月から特別警戒アラートの運用も始まりました。熱中症のピークは7月後半です。今から、睡眠・水分/塩分補給・食事に気を付け、適度の運動を行い、熱中症にならないようにしましょう。暑さ指数が28を超えると嚴重警戒。外出は涼しいときに！ 暑さを避けるため、公共施設等、クールスポットの活用を！

環境省によると、熱中症と自然災害による死者数を比べると断然、熱中症が多いとのこと（R4年 熱中症 1,477人 自然災害 26人）。熱中症は熱による災害という声も。自然災害の予防は難しいですが、熱中症は予防できます。



政府広報
熱中症は予防が大事

住宅の暑さ・寒さ
と健康の調査のモニ
ター参加もお勧め。
私も参加します。→



生駒市立病院 今年6月、開院10年目を迎えました！

旧生駒総合病院(生総)の閉院後に不足した二次救急医療体制の強化等の地域の医療提供体制の確保のため、平成27年に開院した生駒市立病院、6月1日に開院10年目を迎えました。開院当初から、多くの救急患者を受け入れ、コロナ禍では発熱患者や入院患者を積極的に受け入れました。今年2月、日本医療機能評価機構による病院機能評価 一般病院2^注の認定病院とな

りました。4月には生駒市医師会に入会しました。地域の医療は市立病院と地域の医療機関の協力とみなさんからの声(苦言・要望・激励等々)を受けて、良くなっていきます。シンポジウムでこれからの市立病院や市立病院とまちづくりについて、みなさん一緒に考えましょう！ (注)急性期医療を中心に地域医療を支える基幹的病院



病院機能評価

6/30 生駒市立病院 これまでとこれからを考える シンポジウム

日時 令和6年6月30日(日) 14:00-16:00 無料

場所 南コミュニティセンター せせらぎホール

第1部 基調講演 県立医大 細井裕司学長

県立医大の現況と医学を基礎とするまちづくり

第2部 パネルディスカッション

市立病院の取組紹介の後、

市立病院 遠藤院長、細井学長、小紫市長登壇

住みよいまち、安心・安全なまちの医療はどうあるべきか？
市立病院の役割は？
みなさんもぜひ一緒に考えてください！

案内/申込みはこちら →



命を守る
ために

より良い災害時医療・救急医療に向け関係者で話し合いを！

質問その1：地震による災害時の医療・救護活動について



生駒市と生駒市医師会（市医師会）はH23年「災害時における医療救護についての協定」を締結。市医師会はH25年策定の「生駒市医師会医療救護計画」に基づき、救護所の設置運営と救護病院での後方支援活動を行います。一方、H27年に開院した市立病院はこの協定とは別に、救護所から搬送される中等症以上の患者への対応と、直接来院される患者への医療救護活動を行います。H25年以降、医療救護計画の見直しは行われていません。

大きな地震で他の病院が医療機器を使えなくなった場合でも、免震構造を導入した市立病院では医療機器が使える可能性があります。被災病院の医師が市立病院の機器を使い、手術や負傷者の処置を行うこともできると考えます。災害時に1人でも多くの人を救助できるよう、市・市内医療関係者・市立病院の話し合いによる、より良い体制の構築を求めました。

1月、医師会から新たな協定の必要性が提案され、現在、協定書や救護計画の見直しが進行中とのことです（3/23 第31回病院事業推進委員会）

質問その2：平時における救急医療体制について

伊木からの提案・要望

現状：生駒市の救急医療は生駒メディカルセンターに委託した**休日夜間応急診療**（H25年の要綱*に基づき休日夜間応急診療所と輪番体制による二次救急診療を実施）と**市立病院**（H27年～/救急受入れは年中無休）の**2本立**で実施。輪番病院で受入れできなかった救急搬送患者の約4割を市立病院が受入れています。

*生駒市応急診療業務実施要綱



- ・CT、MRI、X線、血液等の検査が24時間可能な市立病院（医療資源）の有効活用を！
- ・関係者が集まり古い要綱*の見直しや対応困難事例の分析を！
- ・より良い救急医療体制について自由闊達に話し合い検討を！
- ・セラビーいこまの老朽化率・コロナ禍経験等も踏まえた広い視野で体制整備の検討を！

3月定例会 伊木の一般質問 2

5歳児健診実施に向け 子ども・保護者支援についてしっかり協議を！

5歳児健診については、重要であるとして27年も前から実施している自治体もあります。こども家庭庁は昨年補正予算を計上し、5歳児健診の実施を推奨しました。生駒市ではR7年度からの実施を予定しています。5歳児健診を受けた後、しっかり支援が行われると、困難さが改善し、就学・社会生活への適応がスムーズになることから、健診後のフォローアップ体制の構築が重視されています。関係者・有識者による十分な協議・検討を求めました。

5歳児健診で確認する項目（5歳児健診マニュアル より抜粋）

- 1）身体発育状況
- 2）栄養状態
- 3）精神発達の状況
- 4）言語障害の有無
- 5）育児上問題となる事項の確認
（生活習慣の自立、社会性の発達、しつけ、食事、事故等）
- 6）その他の疾病及び異常の有無



小中学生含め、みなさんへのお願い

R5年度は総合計画、介護や福祉、スポーツなどの重要な計画がみなさんの意見を取り入れ策定されました。今年度も5月28日には生駒市の教育行政の根本となる方針を定めた 第3次教育大綱 が策定され



パブリックコメント実施予定

ました。今後も子育て・健康や食育・男女共同参画に関する計画の策定や環境・公共施設に関する計画の見直しなど、重要な計画の**パブリックコメント**が実施されます。みなさんも意見を届けてください。

開始後 8分～
1.5倍速でも
大丈夫です
(時間も短縮)



伊木の一般質問



編集後記：5月11日、講演会「夏の熱中症・冬の入浴事故」に参加しました。聴講しながら 平成28年に部活動中の中学1年生が熱中症で亡くなったことを思い出し胸が痛くなりました。対策は十分か？ 事故報告書を読み返し教育部局や消防本部を訪問し現状を確認しました。一般質問で取り上げることも考えましたが、教育部門では十分対策を行われているようで、質問を見送りました。熱中症にかからないよう心掛け、次の定例会に備えたいと思います。 伊木まり子

このニュースの発行・お届けに係る費用は政務活動費から支出しています。